

# フロイディッヒ・フリューゲル Freudig.Flügel

24年  
2月号

2012年2月10日  
編集・発行/大正会館内  
大正フロイデ：西風 勝

## 「第九」を愉しむ季節となりました！

これからも大正フロイデと  
区民との交流の場を

大正フロイデ団長 西風 勝



合唱団も六年が経ち、今年も「第九」を歌う季節となりました。

大正区民にもやっと「第九」が馴染んで頂けるようになったのではないのでしょうか。

これも「歌が好きだ。大正で歌いたい」と言う皆様の結集があったればこそです。

これからも続けていきたいですね。

ところで、一月二十一日に「大正フロイデとドイツのつどい」を開催しました。が、団員の方も四十人ほど出席して頂き、「第九」や「ふるさとの四季」を歌いました。フロイデの合唱の後には、団員も椅子に座ってくつろぎながら、五周年記念コンサートや藤井寛さん(大阪俘虜収容所再発見者)の講演全編などの映像をワイワイガヤガヤと見ました。

それに続き、ワインアドバイザーによるドイツワインの産地や製造技法について映像で楽しく学ぶとともに、四種類のワインの試飲、ドイツビールサービスの

あり、プレッツェルとイタリアの焼菓子といったうえで、最後はワインボトルの抽選会を行う等、楽しいひと時になりました。この間の三時間でした。これからもこのような大正フロイデと区民の交流の場を、そしてフロイデ団員も発表会ではない楽しいひと時を味わえるような企画を考えて行きたいと思っております。



和気アイドとドイツワインで乾杯！

団員の笑顔が  
私のエネルギーに！



総合プロデュース  
西本 ひろみ

今年も十周年に向けてのスタート年です。新たな気持ちで皆様の期待にお答え出来そうです。気持ちを引き締めています。団員の皆様の充実した笑顔が私に放されると、私は又々元気に燃える炎となります。

魂で歌う合唱団



合唱指導  
小川 はじめ

第六回目の第九演奏会が近付いて来ました。

いずみホールでの五周年記念演奏会でも皆様と声を合わせて演奏させて頂き、今回も一部のサウンド・オブ・ミュージックの練習等を御一緒させて頂き、いつも幸せな時間を過ごさせて頂いており、皆様方の歌声には、仲間達と一つの事を力一杯やり

ます。大正フロイデは理想的に進化していますので、十年に向けて、数多くの楽曲を練習して行こうと考えています。時には軽音楽、時には重厚な合唱曲など、これらも団員の皆様が依り一層励んで頂けますよう、お手伝いさせて頂きたいね。又、押し迫った暮れにも関わらず、娘、智実のコンサートで、東京まで行って下さいました方々に、厚く御礼申し上げます。

遂げて、自分たちのベストの演奏をお客様に届けたいのだと言う、誠意と努力の跡がふんだんに感じられる心温まる宝物であります。音楽の最高の魅力である、人々の心に深く感動を与える事の出来る心のこもった演奏を、全ての舞台で心掛けていくのが、大正フロイデであると確信致して居ります。私もその大正フロイデの仲間に入れて頂いた事を、心より感謝致して居ります。そして皆様方との一回一回の練習の際に、魂を込め全力で、ご一緒に音楽作りをさせて頂く事で、少しでも恩返しが出来ればと願って居ります。